

独立行政法人統計センターの平成28年度業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	平成28年度業務実績評価における主な指摘事項	平成29及び30年度の業務運営等への反映状況
<p>国勢調査その他国勢の基本に関する統計調査の製表に関する事項（国勢調査）</p> <p>受託製表に関する事項（一般からの委託に応じた統計の作成等（オーダーメイド集計））</p> <p>統計の作成及び利用に必要な情報の蓄積、加工その他の処理に関する事項（政府統計共同利用システムの運用管理）</p>	<p>（業務実績評価）</p> <p>jSTAT MAPにおいて不正アクセスによるサービス提供の停止となる一部不適切な運用管理が発生した。オーダーメイド集計の提供による収入額で前年度との比較で収入が減少し、また、統計調査の製表業務の一部で、自責による再集計を行った。不正アクセスの再発防止策については、既に策定し、サービスを再開しており、再発防止を強く求める。また、オーダーメイド集計の更なる利用促進及び製表業務の再集計について再発防止を強く求める。</p>	<p>【統計の作成及び利用に必要な情報の蓄積、加工その他の処理に関する事項】</p> <p>jSTAT MAP への不正アクセスを受け、以下の対策を講じるなどして、再発防止策に努めている。</p> <p>①脆弱性情報の常時把握とその対応の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ N I S C (内閣サイバーセキュリティセンター)等から発信される情報を、迅速に関係者に周知 ・ jSTAT MAP のみならず、e-stat を構成するシステム全体のソフトウェアの脆弱性情報を常時把握し、対応が必要な場合は、速やかにパッチの適用や回避策などを実施 <p>②システムの監視及び改ざん検知の仕組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信方式だけでなく、その内容も検査し、不正と判断した通信を遮断 ・ 不正なファイルの追加を検知する仕組みを導入 <p>③外部のセキュリティ専門家からの支援が受けられる体制の整備</p> <p>【国勢調査その他国勢の基本に関する統計調査の製表に関する事項】</p> <p>データ訂正作業後の確認徹底を指導することにより、再発防止策に努めている。</p> <p>【受託製表に関する事項】</p> <p>平成29年度のオーダーメイド集計について、提供メニューの拡大、研究者への広報等の取組を実施し、更なる利用促進を図った。これにより、当該収入額は、前年度までの平均実績額に比べて大幅な増加となった。</p>